

タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 1																
開講期間																			
必修選択	選択	単位数	2.0																
時間割コード	201305610020Q1	科目番号	05610020																
授業科目名	●コンピュータ入門(計算機の科学)																		
編集担当教員	野崎 剛一																		
授業担当教員名(科目責任者)	野崎 剛一																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	野崎 剛一																		
科目分類	情報処理科目																		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目																
教室	[教養C棟]C-25																		
対象学生（クラス等）	教育学部,経済学部,薬学部,水産学部																		
担当教員Eメールアドレス	nozaki@nagasaki-u.ac.jp																		
担当教員研究室	情報メディア基盤センター2階																		
担当教員TEL	095-819-2217																		
担当教員オフィスアワー	月曜日第5校時																		
授業のねらい	<p>コンピュータは万能ではない。その特性を知って、うまく使いこなすことが大切である。情報社会を支えるコンピュータは多様な目的に使われているが、そこには共通な情報処理の原理があり、それに基づいて色々な応用目的に利用されている。</p> <p>本講義では、コンピュータのハードウェアとソフトウェアの仕組みや動作原理、デジタルデータ処理の基本手法について理解を深める。</p>																		
授業方法（学習指導法）	<p>コンピュータの基本的な原理や特性を正しく理解することにより、コンピュータはどのような時に役立ち、どのようなことが苦手かという見当がつくようになる。今後の専門科目の学習、専門課程の研究にも役立ち、応用できる基礎概念を身につけるよう講義する。理解を深めるためにインターネット接続されたWindowsパソコンを一人1台ずつ利用できる教室も活用して適宜、演習を行う。</p>																		
授業到達目標	<p>情報社会を積極的に生きるために必要なコンピュータ技術の基礎的な動作原理を理解することを目標とする。</p>																		
	<p>原則として下表に沿って進めるが、授業の進度や理解度の状況によって、若干の変更があり得る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ガイダンス、コンピュータの基本構成と動作原理</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>情報のデジタル化、情報の数値表現、コンピュータ内での情報の表現、情報の量</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>デジタル情報処理、情報機器の種類と特性、計算誤差の話など</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>オペレーティングシステム(OS)、役割、機能、ファイル管理</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>プログラミング入門(1)：入力、出力、演算</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>プログラミング入門(2)：繰り返し、条件判断</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>プログラミング入門(3)：アルゴリズム</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	ガイダンス、コンピュータの基本構成と動作原理	2	情報のデジタル化、情報の数値表現、コンピュータ内での情報の表現、情報の量	3	デジタル情報処理、情報機器の種類と特性、計算誤差の話など	4	オペレーティングシステム(OS)、役割、機能、ファイル管理	5	プログラミング入門(1)：入力、出力、演算	6	プログラミング入門(2)：繰り返し、条件判断	7	プログラミング入門(3)：アルゴリズム
回	内容																		
1	ガイダンス、コンピュータの基本構成と動作原理																		
2	情報のデジタル化、情報の数値表現、コンピュータ内での情報の表現、情報の量																		
3	デジタル情報処理、情報機器の種類と特性、計算誤差の話など																		
4	オペレーティングシステム(OS)、役割、機能、ファイル管理																		
5	プログラミング入門(1)：入力、出力、演算																		
6	プログラミング入門(2)：繰り返し、条件判断																		
7	プログラミング入門(3)：アルゴリズム																		

授業内容	8	プログラミング演習, デバッグ
	9	様々なアプリケーションソフト, オープンソースソフトウェア, フリーソフトの活用, 著作権
	10	様々なデータ処理, デジタル信号処理, デジタル画像処理
	11	コンピュータはデータをどのように記憶しているのか, 基本論理回路
	12	コンピュータの構成部品, パソコンの内部を見てみよう コンピュータの解体と組み立て
	13	情報セキュリティ, 暗号について, 情報システムの管理と保守
	14	コンピュータネットワークの仕組みとその利用, WWW, 電子メール, ファイル転送など
	15	コンピュータの歴史, 総まとめ
	16	定期試験
キーワード	コンピュータ, 電子計算機, ネットワーク, ハードウェア, ソフトウェア	
教科書・教材・参考書	e-ラーニングシステム上に電子ファイルで示す。	
成績評価の方法・基準等	課題60%, 小テスト・試験40%として総合評価を行う予定	
受講要件 (履修条件)	学習意欲	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305610020Q2	科目番号	05610020
授業科目名	●コンピュータ入門(計算機の科学)		
編集担当教員	野崎 剛一		
授業担当教員名(科目責任者)	野崎 剛一		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	野崎 剛一		
科目分類	情報処理科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養C棟]C-25		
対象学生（クラス等）	教育学部,経済学部,薬学部,水産学部		
担当教員Eメールアドレス	nozaki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	情報メディア基盤センター2階		
担当教員TEL	095-819-2217		
担当教員オフィスアワー	月曜日第5校時		
授業のねらい	コンピュータは万能ではない。その特性を知って、うまく使いこなすことが大切である。情報社会を支えるコンピュータは多様な目的に使われているが、そこには共通な情報処理の原理があり、それに基づいて色々な応用目的に利用されている。 本講義では、コンピュータのハードウェアとソフトウェアの仕組みや動作原理、デジタルデータ処理の基本手法について理解を深める。		
授業方法（学習指導法）	コンピュータの基本的な原理や特性を正しく理解することにより、コンピュータはどのような時に役立ち、どのようなことが苦手かという見当がつくようになる。今後の専門科目の学習、専門課程の研究にも役立ち、応用できる基礎概念を身につけるよう講義する。理解を深めるためにインターネット接続されたWindowsパソコンを一人1台ずつ利用できる教室も活用して適宜、演習を行う。		
授業到達目標	情報社会を積極的に生きるために必要なコンピュータ技術の基礎的な動作原理を理解することを目標とする。		
	原則として下表に沿って進めるが、授業の進度や理解度の状況によって、若干の変更があり得る。		
	回	内容	
	1	ガイダンス、コンピュータの基本構成と動作原理	
	2	情報のデジタル化、情報の数値表現、コンピュータ内での情報の表現、情報の量	
	3	デジタル情報処理、情報機器の種類と特性、計算誤差の話など	
	4	オペレーティングシステム(OS)、役割、機能、ファイル管理	
	5	プログラミング入門(1)：入力、出力、演算	
	6	プログラミング入門(2)：繰り返し、条件判断	
	7	プログラミング入門(3)：アルゴリズム	

授業内容	8	プログラミング演習, デバッグ
	9	様々なアプリケーションソフト, オープンソースソフトウェア, フリーソフトの活用, 著作権
	10	様々なデータ処理, デジタル信号処理, デジタル画像処理
	11	コンピュータはデータをどのように記憶しているのか, 基本論理回路
	12	コンピュータの構成部品, パソコンの内部を見てみよう コンピュータの解体と組み立て
	13	情報セキュリティ, 暗号について, 情報システムの管理と保守
	14	コンピュータネットワークの仕組みとその利用, WWW, 電子メール, ファイル転送など
	15	コンピュータの歴史, 総まとめ
	16	定期試験
キーワード	コンピュータ, 電子計算機, ネットワーク, ハードウェア, ソフトウェア	
教科書・教材・参考書	e-ラーニングシステム上に電子ファイルで示す。	
成績評価の方法・基準等	課題60%, 小テスト・試験40%として総合評価を行う予定	
受講要件 (履修条件)	学習意欲	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)		

